

サポート情報記事

SharePoint Online と Microsoft Teams から Vitextra ソリューションを削除する方法



免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、**Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia)** を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、<https://vitextra.com> からアクセスできる **Vitextra** を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要	4
始める前に	4
手順 1. ページから Web パーツを削除する	5
手順 2. サイトからアプリを削除する	5
手順 3. Microsoft Teams からアプリを削除する	5
手順 4. アプリ カタログからパッケージを削除する	6
手順 5. API アクセス許可を取り消す	7
製品が作成したデータ	7
手順 6. ライセンスを解放する	9
チェックリスト	9
期限	11

概要

SharePoint Framework (SPFx) 製品は、複数の層に分けてインストールされます。アプリ カタログ内のパッケージ、それを使用するサイト上のアプリ、ページ上の Web パーツ、必要に応じて Teams アプリ、そして製品のために承認された API アクセス許可です。アンインストールとは、これらの層を逆順にたどることを意味します。SharePoint が代わりにやってくれるわけではありません。アプリ カタログからパッケージを削除するのは 1 クリックですが、ページには壊れた Web パーツが、Teams には孤立したアプリが、そして承認済みのアクセス許可がそのまま残ります。

この記事では、ページが壊れないようにする順序で Microsoft 365 テナントから Vitextra 製品を完全に削除する方法と、製品が作成したデータおよびライセンスの扱いについて説明します。手順は SharePoint Online 向けのすべての Vitextra 製品で共通です。SharePoint Server 向け製品のアンインストール方法は異なります。[KB10022. SharePoint Server から Vitextra 製品をアンインストールする方法](#)を参照してください。

メモ

支払いを止めるために製品をアンインストールする必要はありません。Vitextra アカウントでサブスクリプションをキャンセルすれば、有料期間の終了時に Web パーツは動作しなくなります。アンインストールは、製品をテナントから取り除きたい場合に行ってください。

始める前に

- 製品がどこで使用されているかを把握します。SharePoint には、Web パーツが使用されているページのレポートがありません。サイトの所有者に確認するか、イントラネットのサイト ページを製品名で検索してください。テナント全体に展開された Web パーツは、どのサイトのどのページにも置かれている可能性があります。
- データの扱いを決めます。一部の製品は、SharePoint リストや OneDrive にデータを保持します (後述の製品が作成したデータを参照)。削除する前に、必要なものをエクスポートしてください。
- 必要なロール。サイトから Web パーツとアプリを削除するにはサイトの所有者

権限が必要です。パッケージの削除、アクセス許可の取り消し、Teams アプリの削除には **SharePoint 管理者** ロールが必要です (Teams については、**Teams 管理者** ロールまたはグローバル管理者も必要です)。

手順 1. ページから Web パーツを削除する

まずページから始めます。先にパッケージを削除すると、**Web** パーツがまだ残っているすべてのページで、コンテンツの代わりにエラーのプレースホルダーが表示され、ページの編集者にも編集モードで同じプレースホルダーが表示されます。

- 1 ページを開き、**編集** をクリックします。
- 2 Vitextra Web パーツを選択し、そのツール バーにある **Web パーツの削除** (ごみ箱) アイコンをクリックします。
- 3 ページを再発行します。



すべてのページについて繰り返します。**Web** パーツの設定はページ内に保存されているため、**Web** パーツを削除するとその構成も削除されます。

手順 2. サイトからアプリを削除する

この手順は、サイトに個別に追加された製品 (サイト コンテンツ → 新規 → アプリから追加) にのみ適用されます。このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加するで展開された製品はサイト コンテンツに表示されないため、この手順は省略します。

- 1 サイトで**設定** → **サイト コンテンツ**を開きます。
- 2 Vitextra アプリを見つけ、そのメニュー (...) を開いて**削除**をクリックします。
- 3 確定します。

削除されたアプリはサイトのごみ箱に移動し、そこから復元できます。

手順 3. Microsoft Teams からアプリを削除する

製品が **Teams** に追加で **Teams** に発行されている場合、その製品は **SharePoint** とは独立して、組織の **Teams** アプリ カタログにカスタム アプリとして存在しています。

- 1 **Microsoft Teams** 管理センターを開き、**Teams** のアプリ → アプリの管理に移動します。
- 2 **Vitextra** 製品を名前で検索して開きます。
- 3 削除をクリックし、確定します。

ユーザーがこのアプリから作成したタブと個人用アプリは動作しなくなり、**Teams** から消えます。アプリのセットアップ ポリシーでアプリがピン留めされていた場合は、ポリシーからも削除してください (**Teams** のアプリ → セットアップ ポリシー)。

メモ

管理者がプロパティ ウィンドウの個人用アプリ (**Microsoft Teams**) グループから保存した **Teams** 個人用アプリの構成 (**Employee Directory**、**Organizational Chart**、**RSS Reader**) は、**Vitextra** ライセンス サービスにテナントごとに保存されています。アプリの削除後は使用されず、次に製品を構成したときに上書きされます。

手順 4. アプリ カタログからパッケージを削除する

- 1 **SharePoint** 管理センターでその他の機能 → アプリ → 開くを開き、アプリの管理ページに移動します。
- 2 **Vitextra** パッケージを選択し、削除をクリックします。確定します。
- 3 パッケージは**アプリ カタログ サイトのごみ箱**に移動します。完全に削除するには、**アプリ カタログ サイト**を開き (アドレスは**アプリの管理**ページに表示されています)、**サイト コンテンツ** → **ごみ箱**に移動してそこでパッケージを削除し、さらに**第 2 段階のごみ箱**からもう一度削除します。それまでは、パッケージを復元できます。

警告

パッケージを削除した時点で、残っているすべての **Web** パーツ インスタンスが動作しなくなります。手順 **1** で見落としたページや、アプリを削除しなかったサイトでも同様です。再び動作させるには、パッケージをごみ箱から復元する必要があります。製品が広く使用されていた場合は、先に無効化することを確認してください。パッケージを選択し、**プロパティ**を開いて**有効**のチェックを外し、サイトの所有者からのフィードバックを待ってから削除します。

製品が**サイト コレクションのアプリ カタログ**からも展開されていた場合は、それぞれの**サイト コレクションの SharePoint 用のアプリ ライブラリ**から同じ方法で削除してください。

手順 **5. API** アクセス許可を取り消す

パッケージを削除しても、そのために承認された **Microsoft Graph** や **Azure DevOps** のアクセス許可は取り消されません。付与はテナント全体に適用され、すべての **SPFx** ソリューションで共有されているため、他のソリューションが必要としない場合にのみ取り消してください。

- 1 SharePoint** 管理センターで**詳細設定**を展開し、**API アクセス**を開きます。
- 2 承認済みの要求**タブでアクセス許可を選択し、**削除**をクリックします。削除した製品だけが使用していた各アクセス許可について繰り返します。

各製品のアクセス許可と、付与が共有される仕組みについては、[KB10360](#). **SharePoint** 管理センターで **Vitextra** ソリューションの **Microsoft Graph API** アクセス許可を承認する方法で説明しています。API アクセス許可のない製品 (**List Filter Online**、**Smart Tiles**、**Quick Poll**、**QR Code Generator**、**Announcements Carousel**、**Questions & Answers**、**RSS Reader**、**Smart Search**) では、この手順は省略します。

製品が作成したデータ

Web パーツやパッケージを削除しても、それが扱っていたデータが削除されることはありません。製品ごとに何を残すかを決めてください。

製品	データの場所	対応
Absence & Coverage	選択したサイト上の 6 つの SharePoint リスト:	必要に応じて Excel または CSV にエクスポートし

製品	データの種類	対応
	<i>AbsenceTypes</i> 、 <i>Absences</i> 、 <i>Substitutions</i> 、 <i>Balances</i> 、 <i>Holidays</i> 、 <i>Settings</i>	てから、リストを削除する
Quick Poll	サイト上のリスト <i>Vitextra Quick Poll Questions</i> と <i>Vitextra Quick Poll Responses</i>	通常のリストとして残すか、削除する
Questions & Answers、Announcements Carousel	Web パーツ用に選択または作成されたカスタム リストまたはお知らせリスト	通常のリストとして残すか、削除する
Password Vault	各ユーザーの OneDrive のアプリケーション フォルダー (<i>Apps</i> フォルダー) にある暗号化されたファイル <i>vitextra-password-vault.json</i>	削除前にユーザーがエントリをエクスポートし、ファイルは自分で削除できる
Employee Details	ユーザーが編集したプロフィール フィールドは、 Web パーツではなく Microsoft Entra ID のプロフィールに保存されている	クリーンアップするものはなし。データはユーザー プロファイルの一部として残る
Employee Directory、Organizational Chart、My Tasks、Smart Search、RSS Reader	Microsoft 365 または外部フィードからデータを読み取る。ページ上の Web パーツ設定以外に SharePoint に作成されるものはない	クリーンアップするものはなし
Smart Tiles、QR Code Generator、List Filter	ページ上の Web パーツ プロパティ内の設定	手順 1 で Web パーツと一緒に削除される

製品	データの場所	対応
Online		

一部の製品がブラウザーに保持するデータ (Employee Directory と Organizational Chart のディレクトリ キャッシュ、My Tasks の個人用ビュー設定、List Filter Online の保存済みフィルター、Smart Search の保存済み検索) は、サイトのブラウザー データが消去されるまでユーザーのデバイスに残ります。完全な一覧については、[KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPR](#)を参照してください。

手順 6. ライセンスを解放する

アンインストールしてもサブスクリプションは変わりません。[vitextra.com](#) にサインインし、**Account → My Subscriptions** (アカウント → マイ サブスクリプション) を開き、サブスクリプションを選択して、テナントのライセンス割り当てを **Remove** (削除) する (別のテナントでライセンスを使用する予定の場合) か、**Cancel Subscription** (サブスクリプションのキャンセル) を実行します。手順は [KB10037. Vitextra サブスクリプションを管理する方法](#)で説明しています。製品が試用版のみだった場合は、何もする必要はありません。

メモ

後で製品を再インストールしても、試用期間は最初からやり直しになりません。試用期間はテナントと製品に紐づいています。試用期間が既に終了している製品は、再インストール直後にライセンスが必要になります。

チェックリスト

- 1 すべてのページから **Web** パーツを削除し、ページを再発行した。
- 2 個別に追加されていたすべてのサイトからアプリを削除した。
- 3 **Teams** 管理センターでカスタム アプリを削除し、セットアップ ポリシーからも削除した。
- 4 テナントのアプリ カタログ (およびサイト コレクションのアプリ カタログ) と両方のごみ箱からパッケージを削除した。
- 5 この製品だけが使用していた **API** アクセス許可を **API アクセス** ページで削除した。

- 6 データをエクスポートした、または意図的に削除した。
- 7 ライセンスの割り当てを削除した、またはサブスクリプションをキャンセルした。

期限

SharePoint Framework (SPFx)

SharePoint Framework (SPFx) は、SharePoint Online、SharePoint Server (オンプレミス)、Microsoft Teams 向けのクライアント側 Web パーツ、コンポーネント、拡張機能を構築するためのモデルです。SPFx のカスタマイズは JavaScript に基づいており、モダン ユーザー インターフェイスをネイティブでサポートします。

アプリ カタログ

アプリ カタログは、SharePoint、Teams、その他の Microsoft 365 サービス向けのアプリを格納する特別な SharePoint サイトです。グローバル管理者または SharePoint 管理者は、AppSource マーケットプレイス、カスタム開発アプリ、サードパーティ製アプリのアプリケーションを、組織の内部使用のためにアップロードして管理できます。テナントには、テナント レベルのアプリ カタログを 1 つだけ作成できます。個々のサイト コレクションには、サイト コレクション アプリ カタログを追加できます。